



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



炎でスルメあぶって
無病息災を願う
●1月15日 粟生津小学校

粟生津地域で3年ぶりに開催された塞の神。正月飾りやかき初めの書き損じたものなどを燃やして、参加した皆さんで無病息災と五穀豊穡を願いました。



市内12店舗が参加。魅力的なスイーツ大集合！
●1月15日 吉田産業会館

毎年大好評のスイーツイベント「ツバメルシェスイーツグランプリ」。来場者の投票でグランプリが決定！グランプリは菓子工房 RIM の「たっぷり苺のタルト」でした。



色彩豊かな
越後つばめの天神講
●1月7日 道の駅国上

「天神講のお菓子を食べると、勉強ができるようになる」という言い伝えがあり、受験生の合格祈願に最適。色彩豊かなお菓子が並ぶ天神講菓子展にお越しください。



今年も燕の
安全安心を守ります
●1月8日 中央公民館

新年を迎え、燕市消防出初式が開催されました。堂々たる車両行進・放水披露からは、市民の安全と安心を守り抜くという強い決意が溢れているようでした。

今月のつばめっ子

●元気なつばめの子どもの様子をお届けします！



大きな獅子舞が保育園に登場。
今年も良い1年にな～れ!!

●1月6日 粟生津保育園

「新年お楽しみ会」を開催した保育園に獅子舞がやってきました。獅子舞に頭を噛んでもらうと「悪いことから守ってくれる」と教えてもらい、ちょっぴり怖いけどみんなでチャレンジ！今年も楽しいことがいっぱい1年になりますように。



なるほど! 長善館

長善館史料館 ☎0256・93・5400

●1833年に創設された私塾「長善館」。革新的な教育を行い、約80年の運営で約1000人の塾生を輩出しました。

▶鈴木文臺（1796年〜1870年）長善館初代館主



▶石黒忠恵（1845年〜1941年）後に陸軍重医総監、貴族議員



長善館は明治政府よりその功績を賞賛され、明治22年に官報に記載された。この朗報を先駆けて連絡してくれた人がいた。石黒忠恵である。小千谷に暮らしていた16歳の頃、長善館を訪ねている。「尊皇」について意見を聞くためであった。難しい問題であったので多くの塾生は門前払いされたが、「文臺は子ども扱いせず、熱心に話をしてくれた」と後に述懐している。長善館のすばらしさが認められたことが事の他うれしかったようである。難問でも誰とでもきちんと向き合う塾風が80年も存続した源泉に違いない。

*中国の王朝(618年〜907年)

この図は渡唐天神図といわれ、菅原道真公が禪の修行のために唐に渡り、その証として高僧から法衣を授けられたという説話に基づいて描かれたものです。仙冠と道服を身につけて右腰に袈裟袋をさげ、一枝の梅花を両手で持っている姿が特徴で、天神信仰画の一つともいわれています。さらに、この絵に惕軒が漢詩の画賛を添えています。長善館では、毎年天神講の時期になると、これを祭壇に掲げて学問の神様・儒学の神様としてあがめ、その下で塾生たちが学問研究や人格の陶冶に励んでいたことが思い起こされます。

片桐遜堂は燕市高木の生まれで長善館に入門し、初代館主・鈴木文臺に師事して漢学を学びました。後に画家となり多くの賞を受けて、その名声を博します。

文学は百代の儒宗、忠節は萬代の臣則なり。孩童馬夫も崇称し、四海九州に庶食す。

（意訳）儒教の学問を身につけ、真心を尽くして国家・社会に貢献することは、人として守るべき正しい道である。この心を守り通した菅原道真公は多くの人たちに尊敬されて天神様としてまつられている。



▲渡唐天神図

私塾長善館の門下生の一人で画家の片桐遜堂が描いた「渡唐天神図」を紹介いたします。

越北の鴻都 長善館
―渡唐天神の画幅―

長善館史料館
☎0256・93・5400
(月曜日休館、祝日の場合は翌日休館)
■入館料 大人100円、高校生以下50円
※団体割引あり

今月の一品



▲「イベントレポート」(ホームページ)



▲「大河津分水ありがとう」(YouTube)



▲「分水講演会」(YouTube)

大河津分水通水100周年事業では、分水講演会や6館リレー展、分水サミット、記念シンポジウムなどさまざまなイベントを実施してきました。また、8月25日の通水記念イベント「OHKOUNUDAY」では可動堰のゲートを開放し通水を再現し、8月27日の大河津分水サンクスフェスタでは6500人もの方々からお越しいただき大河津分水の100歳をお祝いすることができました。さらに、大河津分水への感謝の想いなどをお寄せいただくメッセージプロジェクトも始動。多くの方々から「大河津分水ありがとう」の声をたくさんお寄せいただきました。

このような100周年イベントの様子は「イベントレポート」として100周年ホームページに掲載しているほか、分水講演会の講演の様子や大河津分水へのメッセージはYouTubeでもご覧いただくことができます。



大河津分水コラム
次の100年に向けて
100周年事業を振り返って

地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.59



私の思い出が詰まった、燕背脂ラーメンMAPをぜひご覧ください!

こんにちは、地域おこし協力隊 SNS 情報発信担当の井口大史です。最近では周りの人に「ちょんまげ」の愛称で呼ばれています。東京から燕市へ移住して半年以上が経ち、新潟の寒さと雪に苦戦しつつも、人生初の一人暮らしにもやっと慣れてきました。

今回は燕背脂ラーメンMAPの裏話を少し。私は昨年12月に公開した、燕背脂ラーメンMAPの作成に携わりました。その中でラーメンの写真撮影業務があり、市内のラーメンを食べて回りました。背脂ラーメンを食べたその数なんと20杯以上。一日2軒、回ることもあり。約1か月そんな生活を続けた結果、見事に5キロの増量に成功しました。そして、私が背脂ラーメン好きになったのは言うまでもありません。



燕市地域おこし協力隊
井口 大史